

# 最高の安全・安心を追求し、 大阪から元気を創りつづける。



大阪市高速電気軌道株式会社  
代表取締役社長 河井英明

平素は、Osaka Metroをご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社では、「最高の安全・安心を追求する」を企業理念に掲げ、これまでもお客さまの安全・安心を最優先にハードとソフトの両面から安全対策に取り組んでまいりました。

昨今、大規模地震や大雨災害といった多くの自然災害が発生し、甚大な被害を各地にもたらしています。加えて、鉄道車内において凶悪な無差別傷害事件が連続して発生するなど、安全・安心確保のための課題は多岐にわたり、かつ複雑化しています。

これらの課題に対し、当社では根本的なリスクの低減を図る取組みを進めています。ハード面では可動式ホーム柵や止水パネルの設置等を引き続いて実施することに加え、セキュリティ対策として駅構内、車内の防犯カメラの設置を積極的に拡大しています。また、ソフト面では大阪府警察本部及び近畿運輸局との三者で「鉄道利用者の安全確保に関する包括連携協定」を締結し、犯罪を未然防止するための連携

を強化するほか、緊急時においても、お客さまの安全を確保し、被害を極力抑えることができるよう具体的なシナリオに基づいた訓練を実施するなど、社員の対応力・スキルの向上や組織体制の強化にも重点的に取り組んでいます。

しかし、これらの取組みにも関わらず、昨年度に御堂筋線梅田駅で、段差解消のための楯状ゴムと列車の接触事案が発生させ、多くのお客さまに多大なご迷惑とご不安をお掛けしてしまいました。この事案を重く受け止め、同様の事案が発生させないという決意のもとで、再発防止策を徹底することはもちろん、包括的な対応として、今年度の経営トップコミットメントでは、「現場と本社の一体感の醸成」、「風通しの良い職場づくり」、「強い使命感と適切な緊張感の持続」、「安全への取組みの社内外へのアピール」、「ヒューマンエラー及びトラブルの防止」、「人材育成」、「適切な安全投資の実施」を7つの基本的な方針として「組織能力の強化」を図ることとしました。経営層をはじめとした本社管理部門から現場最前線までが共通認識を持ち、具体的な推進計画を確実に推進してまいります。

また、2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続いておりますが、日々ご利用されるお客さまが日常生活や社会活動を安心して行って頂けるよう、交通インフラ企業として安定した輸送サービスを提供するとともに、アルコール消毒液の設置や毎日の車内の消毒等といった感染症対策にも努めてまいります。

お客さまに信頼され、愛される企業を目指して、全社一丸となって安全・安心の対策に取り組んでまいりますので、引続きのご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。